

防除情報「アメリカシロヒトリに注意しましょう」(6月11日)

6月上旬の巡回調査で、羽曳野市のぶどうほ場においてアメリカシロヒトリの発生を確認しました。羽曳野市のサクラなどの緑化樹でもアメリカシロヒトリが多く発生しています。

この害虫は、食害する範囲が広く、サクラやヤナギ、カキ、ブドウなど多数の果樹や緑化樹などを食害します。

年に2～3回発生し、成虫の体長は1cm、開張3cm程度の灰色の蛾で、夜間に灯火に群がる性質があります。

数百頭が集団で加害することが多く、葉が激しく食害されることで、樹勢が衰弱するなどの被害があります。

昨年も、7月にぶどう園で被害が発生しています。

○対策

1 収穫が終了した果樹園（ぶどうなど）も定期的に観察し、早期発見に努める。

2 若齢幼虫は集団を作っているので、被害を受けた部位を切除し、ビニル袋などに入れて処分する。

3 発生を確認した場合は、薬剤等を散布する。

なお薬剤散布に当たっては、ラベルを確認し、適用のある農薬を散布する。

（樹種によって、使用できる薬剤や濃度が異なるので注意してください）